

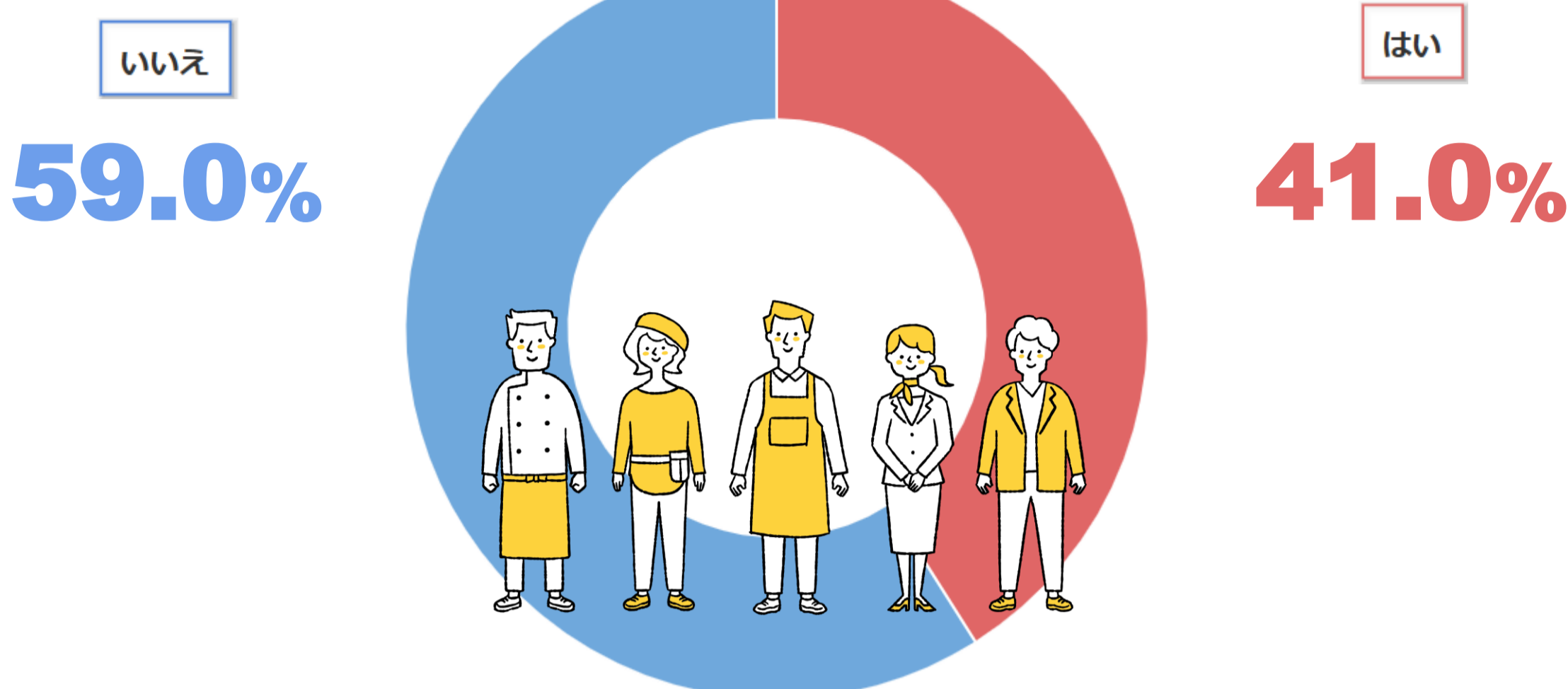
副業・兼業に関する調査結果

【実施期間】

2023年3月

副業・兼業の状況

—あなたは個人総研以外で副業・兼業をしていますか？



副業・兼業をしない理由

副業・兼業を始めない理由は何ですか？

美容業

- 面倒くさいし稼げないから。副業で稼げるほどビジネスは甘くない
- 副業をしたいですが何をしようかと考えている。少し時間がないのでこれから作る
- 今の仕事の中でもまだまだやる事が山積みで、他になかなか時間が取れない時間がない
- 今の仕事で手一杯なので、副業しようと思ったら今の仕事をある程度セーブしないといけなくなるので踏み切れていない
- 何がいかよく分からず、なかなか行動に移せていない。情報が少ない
- 興味はあるが時間がかかって面倒なイメージがあり、続かない感じがする
- 本業も収入含めてままならないので、もっと本業に力を入れたいから
- まだ見つけていないのと、これから模索している状態。今年から始める予定
- 時間が無い。本業の業務でいっぱい。効率的に稼げる副業がない
- どんな副業があるのかよく知らない
- 良い副業がみつからない。今の仕事と相性のいい副業があればしてみたい
- ちょこちょこしたことをやるだけで、年間20万円になっていない
- 色々と考えているので、今後変わっていく可能性があると思う
- どうやって始めていけばいいかわからない
- 色んな情報があり何をやったらいいのかわからないのと、何を信じて始めたらいいのかわからない
- 本業でもう少し頑張りたい
- 他の事をすると今の仕事が疎かになりそう。どうすればいいのかわからない
- 結果や収益になるまで時間がかかるイメージがあるから、なかなか始められない
- 何かしたいなと思っているが、他に何をすればいいかわからない
- 本業で時間を有しているので、なかなか副業を考えられない
- 始めたいとは思いますが、仕事と家事と趣味で忙しくて時間がとれない
- 本業が忙しく副業、兼業をやっている時間がない
- 副業や兼業と言っても何からはじめたら良いのか全く分からない
- 何を副業にするといいのかわからない。自分に合う副業がわからない
- 興味はあるが、何から初めていけばいいのかわからない部分がある
- 何から始めていいかわからないのと、そこで得た利益をどう確定申告していいかわからない
- 子育て中なので時間がない。他には何をしたいかわからない
- 本業に費やしている時間が多い。何から始めたらいいかわからない
- 一度やってみたけど、大変過ぎて辞めてしまった。しかし、いつかやりたいと思っている

小売業

- 時間に余裕がなく、良い副業が見つからないため。今の仕事で間に合っている
- 本業が忙しく副業にかけられる時間がなかなか作ることができない

建設業

- なにをしていいかわからない。あまり時間もない
- 塗装の仕事の為天気によって左右されやすい。仕事が出来ないときの補填の為やりたいと考えている
- 毎日の本業があるので、中々時間がない
- 本業の就業時間が不規則でなかなか見つけられない
- 今の仕事の合間とかにしたいが、イマイチこれをしようというものが無い
- 始め方がわからない。中途半端にやりたくない。本業が忙しい
- 本業があるので副業できる時間もないし、今の現状に満足しているから
- 親の介護を週末やってるし、毎日子供の世話をしているから時間がない
- 身体が偉いから、副業をしたくてもきつくてやってないのが現状

運送業

- 本業が忙しすぎて他の副業をする暇がないし、それだけの体力もない
- 時間がないから。何をすればいいのかわからない。詐欺が多いから

WEBサービス業

- 副業を本業にしたため。本業だけで十分大変で、手一杯なので始める余地がない
- 副業をしたいが体力的に限界で仕事に影響がでそうなのでやっていない
- 本業が忙しい

医療業・福祉業

- 副業に時間を費やすと大切なプライベートの時間に支障が出ると考えているため
- 半日だけ福祉施設でパートとして働いているが、体力的にこれ以上は無理かなと思う
- 本業を真剣にやっていたら、副業をする時間も必要もないと考えている

その他

- 翻訳
→時間が取れないので始めていないが興味はある。別の収入を持っている必要があると思う
- 保険業
→まだ資格取得中で働けない。来年頃副業開始予定で勉強中
→収入は今のままで正直かなと考えてるし、他に自分なりに資産運用しているから
→本業の生命保険業のみで時間をとられるため、副業を行うような時間的余裕がないため
- 不動産仲介業
→本業が忙しく時間がほとんど無い為。今後は検討して行きたい
- 外部講師
→資金がない。時間がない。何をしたいのかわからない
- 電気工事業
→本業の仕事が手いっぱい出張仕事も有る為、中々他の事を始められない
- 営業代行
→副業、兼業という形で取り組んではいないがいろいろ試しではやっている
- 飲食業
→働く時間も長く日々忙しいため、副業など考える余裕がない
- 飲食業
→拘束時間が長いので副業へなかなか時間が割けない。現在空いた時間は副業スタートさせるための資格獲得への勉強時間に充てている

副業・兼業を始めたタイミング

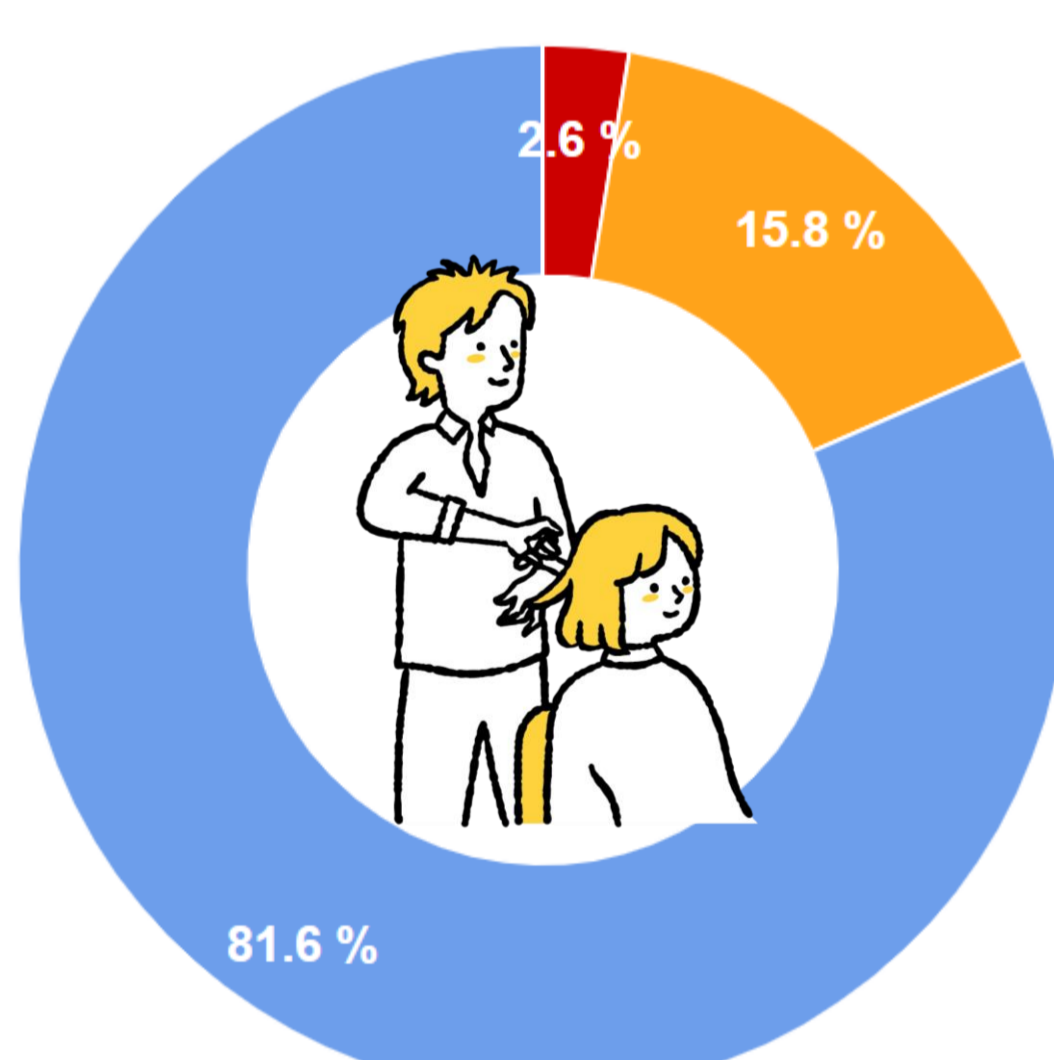
—副業・兼業を始めたのはコロナ前ですか？コロナ後ですか？



業界における副業・兼業率／理由

—あなたの業界では、副業・兼業をしている人はどれくらいいますか？その理由は？

美容業



■ 半分以上していると思う ■ 半分はしていると思う ■ 半分以下だと思う

▶ 半分・半分以上

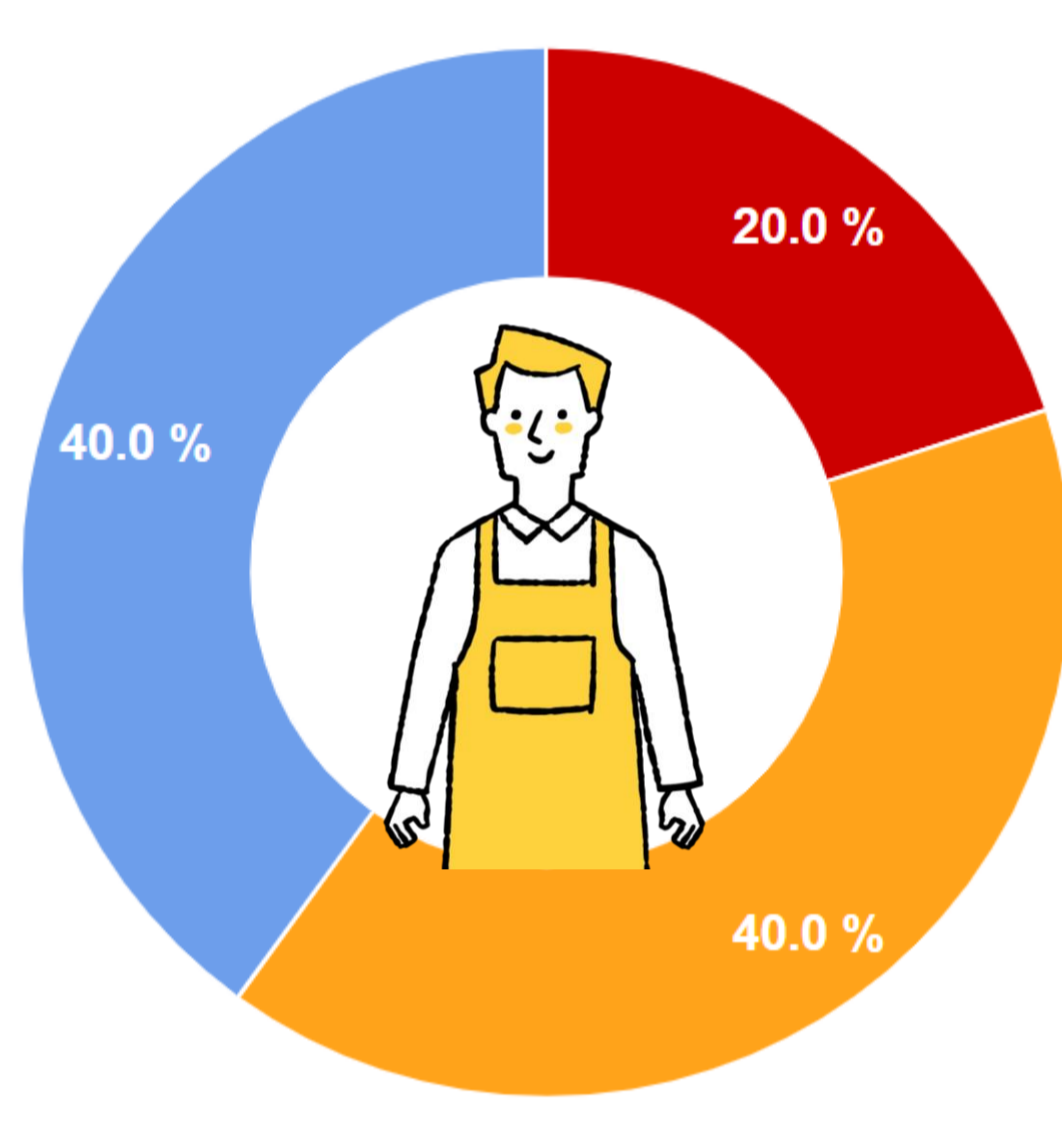
- 情報を交換するにあたり、半分ぐらいが副業をしていると感じた為
- 売上の限界があり他からの収入を得る人が多い。周りにもYouTubeインスタなどしている人がいる
- 今の時代、収入源を増やすことは当たり前のようになってきているから
- 少人数や1人サロンでは売上の天井が明確なので収入を増やすためには本業以外の収入源が必要
- フリーランスで美容師をしているので、他での収入も欲しい人が多い
- それなりに情報が有り余剰資金があれば経費節約の事も考えて行なってると思う
- 半分以上かどうかはわからないが、今後の収入に不安があったりするから

▶ 半分以下

- リソース、知識、意欲、継続できる能力がある人はごく一部だと思う
- ほとんどの人が時間の切り売りなので副業をする時間が取れないのと体力的に辛いから
- 拘束時間が長いと立ち仕事なので、体力的にきつい
- 時間的に拘束される事が多いので副業をする時間がない
- 周りで副業してるのを聞いたこともないし、特に今まで考えたこともない
- 言い訳になるのかもしれないが、とにかく時間がない
- 美容師を頑張っている者であれば副業に割く時間はそんなにないと思われるし、半分以上の美容師が副業してまで収入を得たいと考えてるとは思えないから
- ビューティガレージなどの通販、ネットの副業が多いと思う
- やっている人はいると思うが、なかなか本業以外に手が回らない人もいると思う
- 拘束時間が長い。朝も早いし夜も遅いからかなと思う。体力仕事を2つやるのは厳しい

- 拘束時間が長い。朝も早いし夜も遅いからかなと思う。体力仕事を2つやるのは厳しい
- 売上を上げるために必死になって努力しているので、そこを頑張れない人は何やっても無理
- 周りにやっている人があまりいない。業界ならではのものはあまりないかも
- 事業を軌道にのせるために、基本的には本業で頑張っている経営者の方が多いと思う
- 本業の仕事が忙しいのも一つの理由になっている
- 本業を優先してしまうので兼業、副業がはじめづらいように感じる
- 現場に立っているオーナーが多いので、基本的に時間がない人が多いと感じる
- 何をすればいいか迷ってる感じ
- 美容室を運営していると時間的な事だったり店舗から離れることが困難だから
給料の少ない若い子ほど仕事の拘束時間が長し、勉強しなくちゃいけない事も多くて忙しいので
- 副業をする時間がない
- 本業に取られる時間が長いので副業、兼業をしている時間がないから
- お店と契約して仕事をしているので拘束時間も長く、なかなかできない
- 仕事の時間も長く休みも多い方ではないから時間的に難しいからだと思う
- 美容室の経営だけで忙しく副業をする時間をとることが難しい
- 本業が基本的に忙し過ぎて拘束時間も長いので、他にやる余裕がない
- そのような時間が確保できると思えない。確保するとしたら睡眠時間を削ったりすることになりそう
- みんな美容が好きなので、他の事をしてる人は少ないように思う
- 普段の営業でお客さんと接していて、なかなか時間を作るのが難しい
美容師という仕事から拘束時間が長くなかなか他のことをする時間がない

小売業



■ 半分以上していると思う ■ 半分はしていると思う ■ 半分以下だと思う

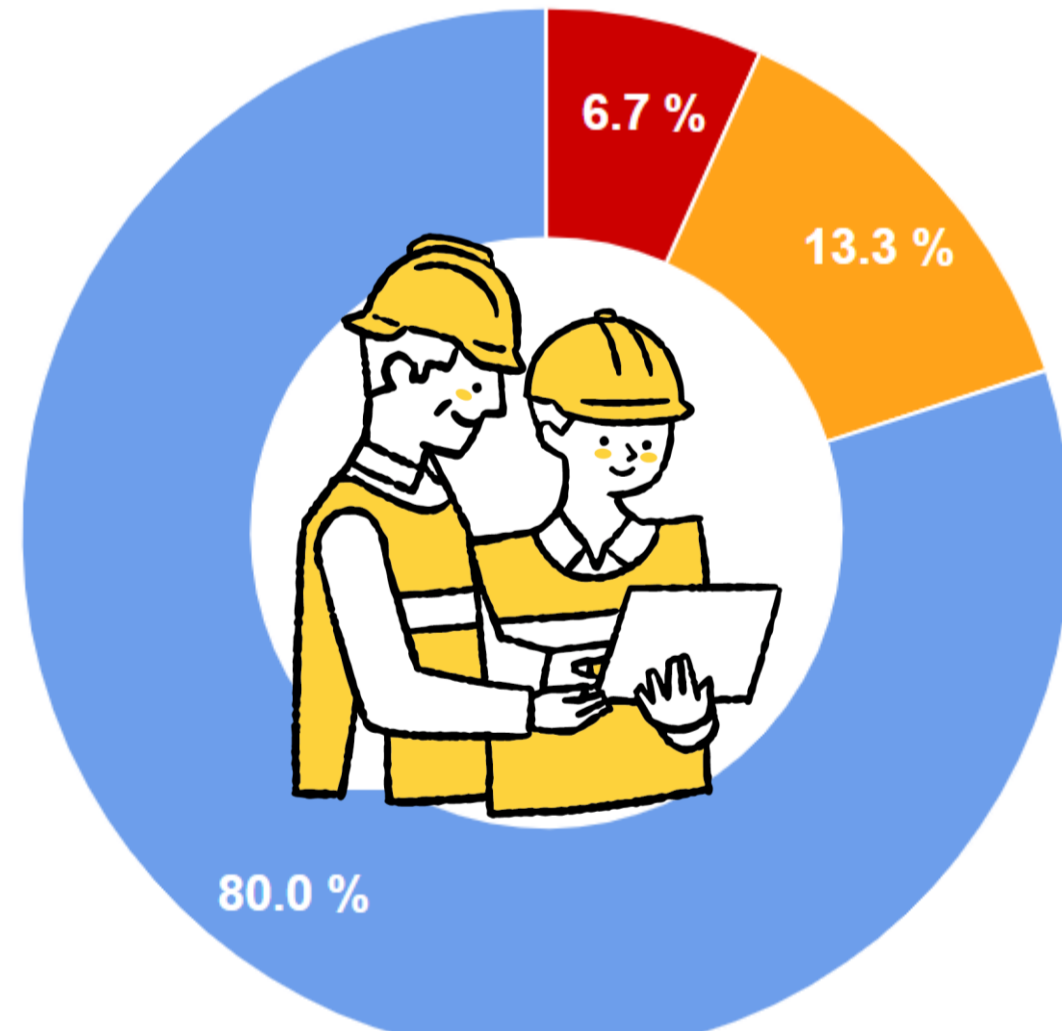
▶ 半分・半分以上

- 1業態だと安定しないので、複数の事業をしている
- 副業しないと生きていけないから。より良い暮らしをするため
- 現在でも物価の高騰が止まらない背景の中、収入は増えない方が多く副業をしてでも稼ぎたい
でも時間があまり取れないって方が物販へ流れてくるケースが多い

▶ 半分以下

- 情報発信等してる方でも兼業や副業をしている様子が見られない
- 独立しているお店であれば、ほとんど1日14時間程度働いているので時間がない

建設業



■ 半分以上していると思う ■ 半分はしていると思う ■ 半分以下だと思う

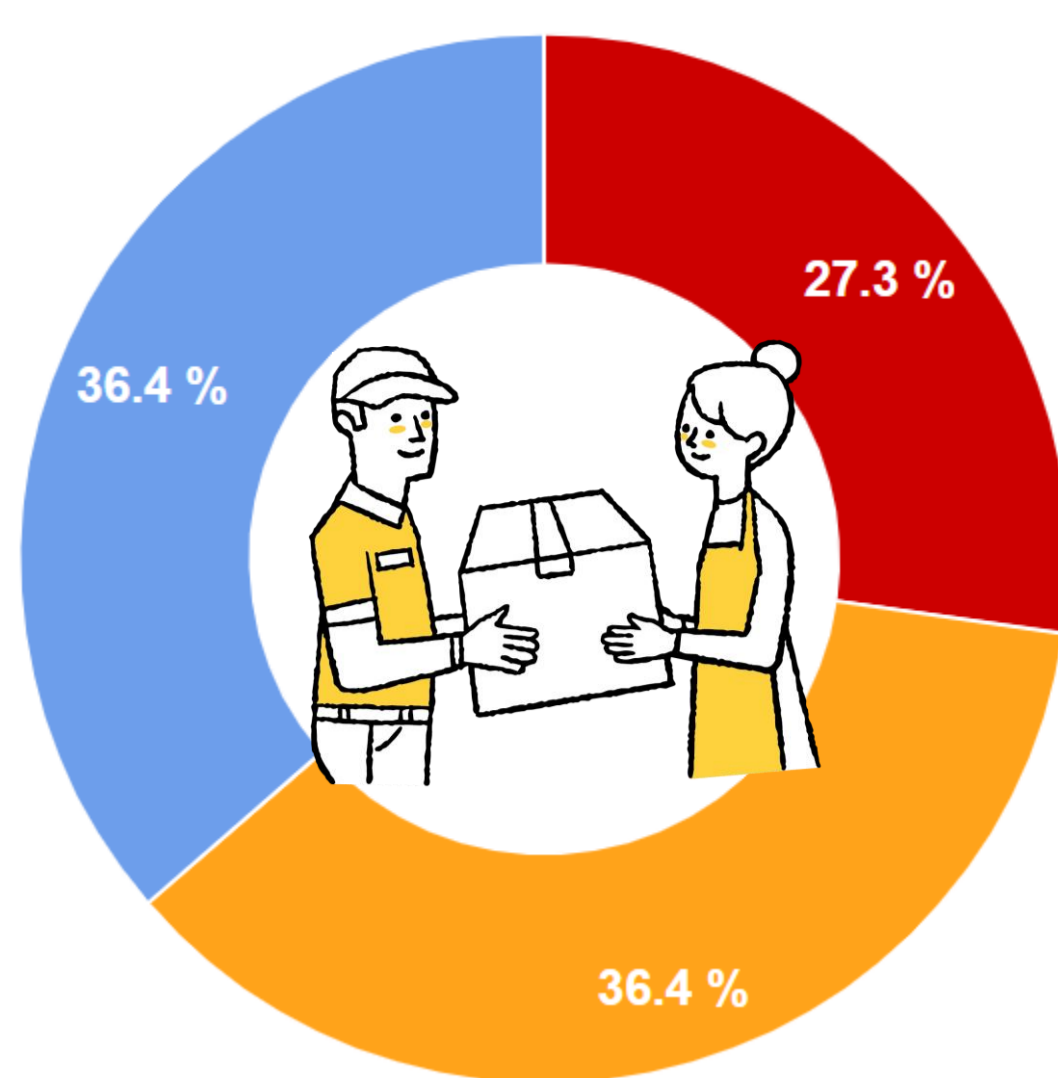
▶ 半分・半分以上

- 個人事業主としてだけではなく、法人化をして多角経営をしている人が多くいる
- 今の時代、副業をやっている人は多いと思う。ネットを使って副業が出来る時代
- コロナで収入が減ってるから、生活の為にする人は居ると思う

▶ 半分以下

- 時間が無いのでその余裕が無い。何していいかも分からないと思う
- 大工工事は期間内に工事を終わらせなければならず、1人親方は他の仕事する時間や余裕がないため
- 朝から夜までいっぱい仕事して、一日が過ぎてしまうからだと思う
- 半数以下の理由は先に回答したとおり就業時間が不規則でなかなか見つけれないから
- 自分の周りで副業をしている人の話をあんまり聞かない。周りでしている人は1人しか知らないから
- 始め方がわからない。本業が忙しいので副業まで手が回らない
- 今現在どこも本業が忙しく、副業をやる暇や余裕がないと思う
- 体力仕事が多いので肉体的に追いつかない。
- 他人が副業をしているかどうかはわかりません。お互い稼ぎを隠しているのでは

運送業



■ 半分以上していると思う ■ 半分はしていると思う ■ 半分以下だと思う

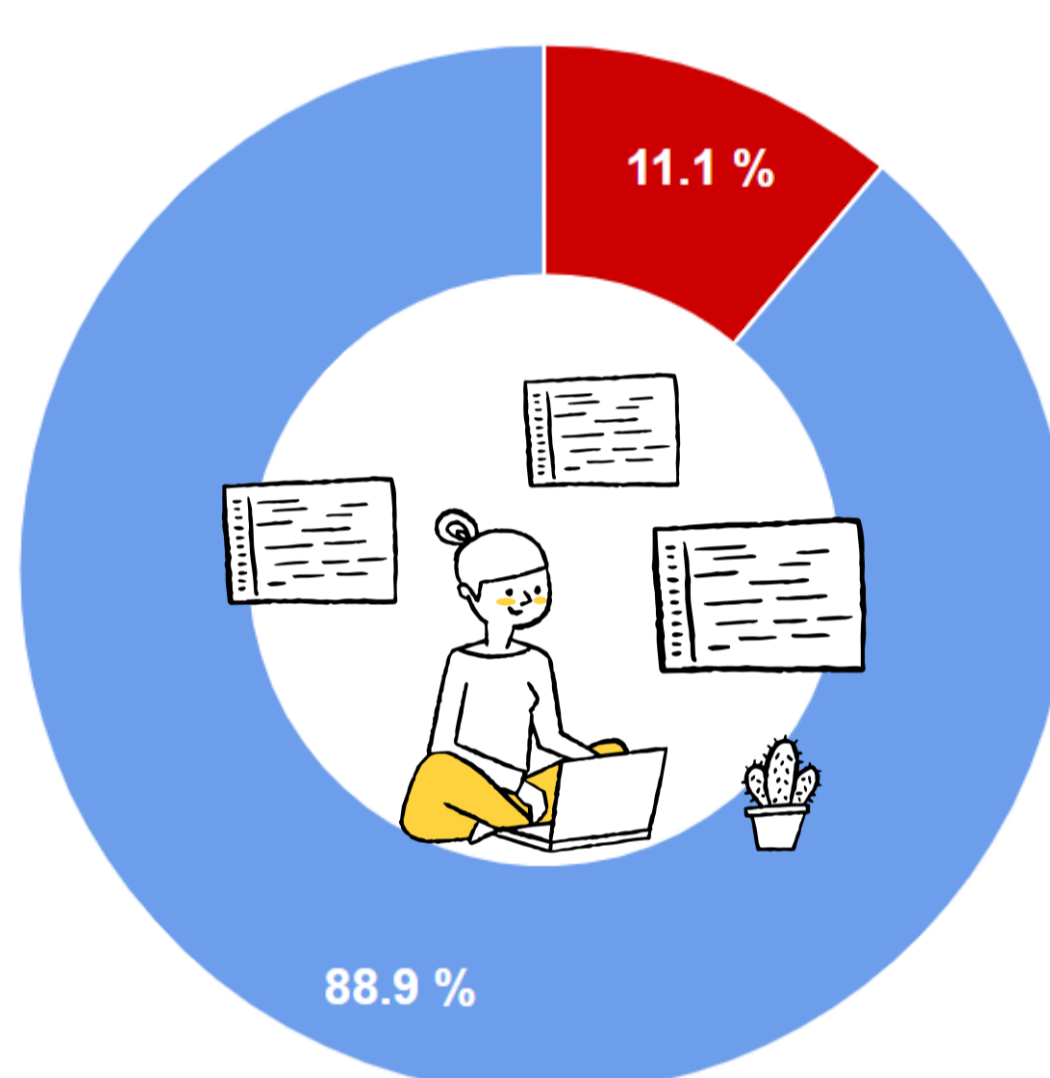
▶ 半分・半分以上

- ある程度の収入を得るためには時間がかかるため、生活費を稼ぐために他の副業もしてると思う
- コロナが流行したことによって配達業界の需要が高まり本業との掛け持ちをする人が周りにいる
- 副業や兼業をしないと、生活費を維持出来ないから
- 自分の裁量で自由に時間が決められるのでやってる人は多い
- 拘束時間が自分の裁量によるのと、単価の問題があるためだと思われる
- 時間にとっても余裕があると思うので、兼業をしている方がほとんどだと思う
- 今の時代どこでどうなるか分からないので色んなこと始める人が多いと思う

▶ 半分以下

- 私のしている配送業は、朝も早く夜も遅いのでなかなか副業をする余裕がない
- 時間の拘束が長いと、ほかの事業を行うのは難しい
- 他の人から副業している話を聞かないから、実際は分からないがやってないと思う
- 運送業に従事しているが、副業をしたら他の運送会社での副業になるかと思う

WEBサービス業

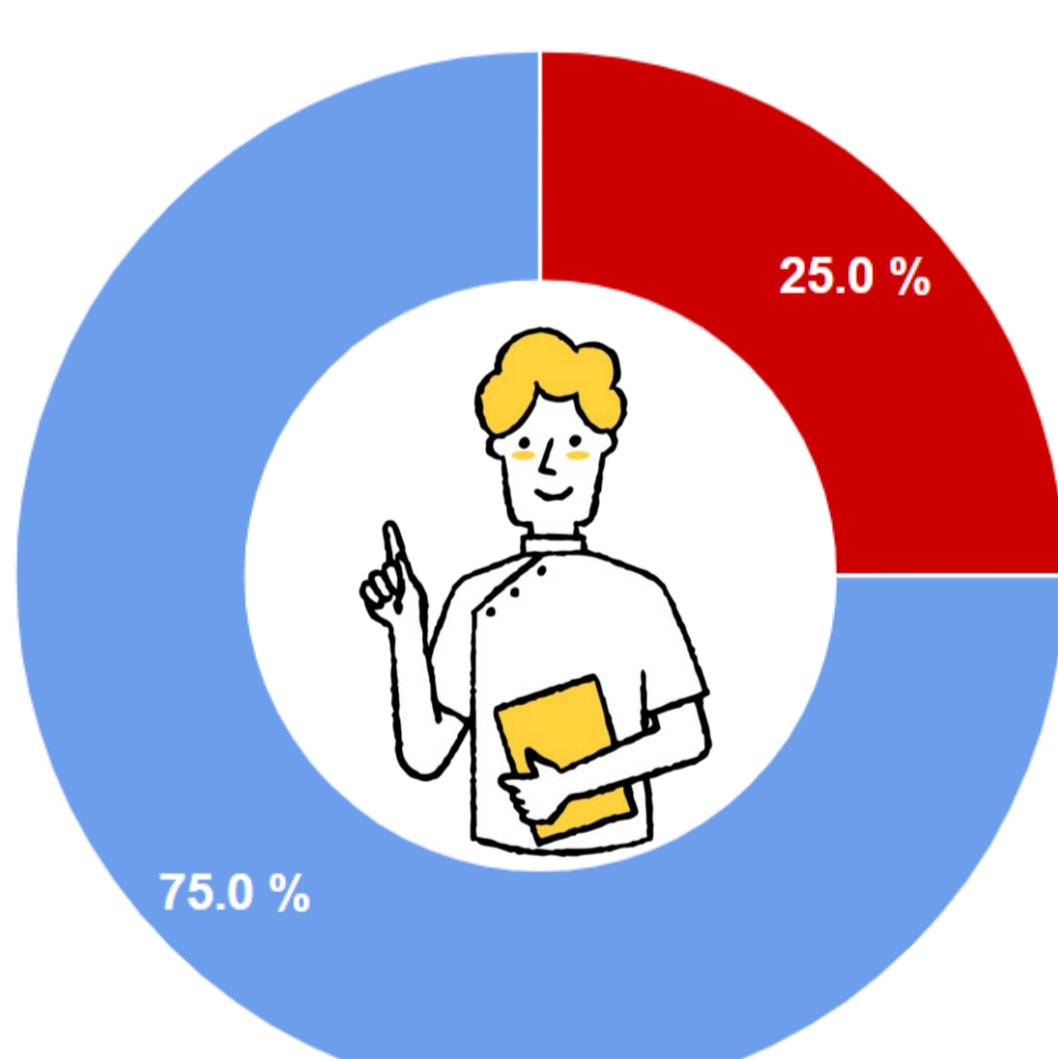


■ 半分以上していると思う ■ 半分はしていると思う ■ 半分以下だと思う

▶ 半分以下

- 本業だけやっている人が多い印象。副業をやっている人は本業の延長線のような印象
- 複数の委託元から受託している人は多いと思うが、副業としては少ないと思われる
- 8時間働いたうえで副業もやるとスキルアップする時間もなくなりますし体力がある年代の人しかできないと思う
- 業界の範囲定義も曖昧だが、基本的に社員と勤務体系となるため副業はやりにくい
- 本業が忙しいから

医療・福祉業



■ 半分以上していると思う ■ 半分はしていると思う ■ 半分以下だと思う

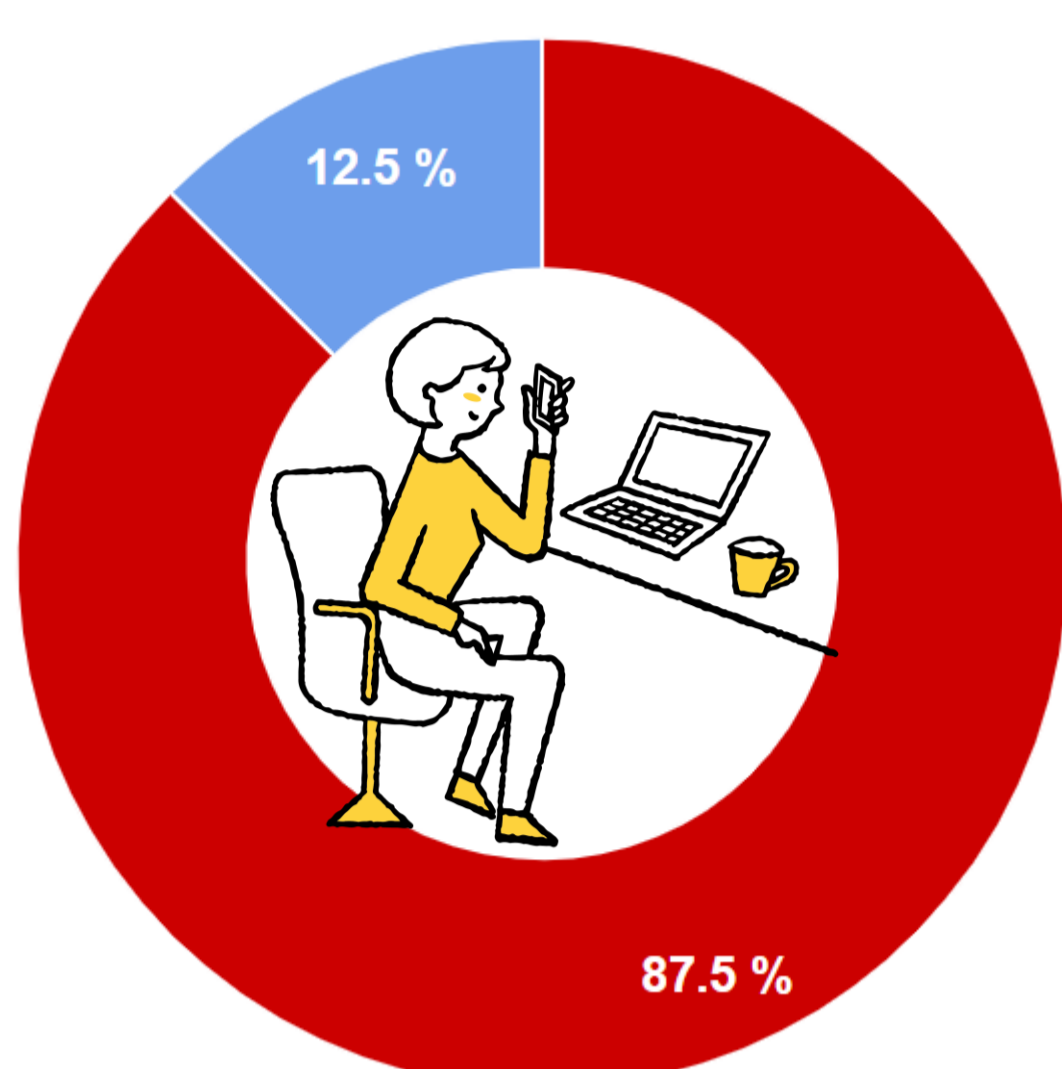
▶ 半分・半分以上

- 複数の事業所に登録したり、他の仕事を兼業している人が多いため
- 介護職は処遇問題を抱えていて、一般的に低賃金や労働条件について一般的産業よりも賃金面で課題を抱えている

▶半分以下

- 副業をしなくても、本業を頑張ることで十分な給料が貰えることが大きいと思われる
- 本業は日々の生活でも休日でも勉強したり、講習会などで体力も時間も興味関心も集中するため
- 同じ仕事を掛け持ちでしている人はいるが、副業に関しては自分が知らないだけかも
- 副業兼業をする必要があるような人は廃業していると思う。この業界の副業は儲かったやり方を教えて、コンサルのようなことをしている人だと思う
- 一般開業医で副業を行っている人は少ないかと思う。業界ならではの副業もない

個人投資家



■ 半分以上していると思う ■ 半分はしていると思う ■ 半分以下だと思う

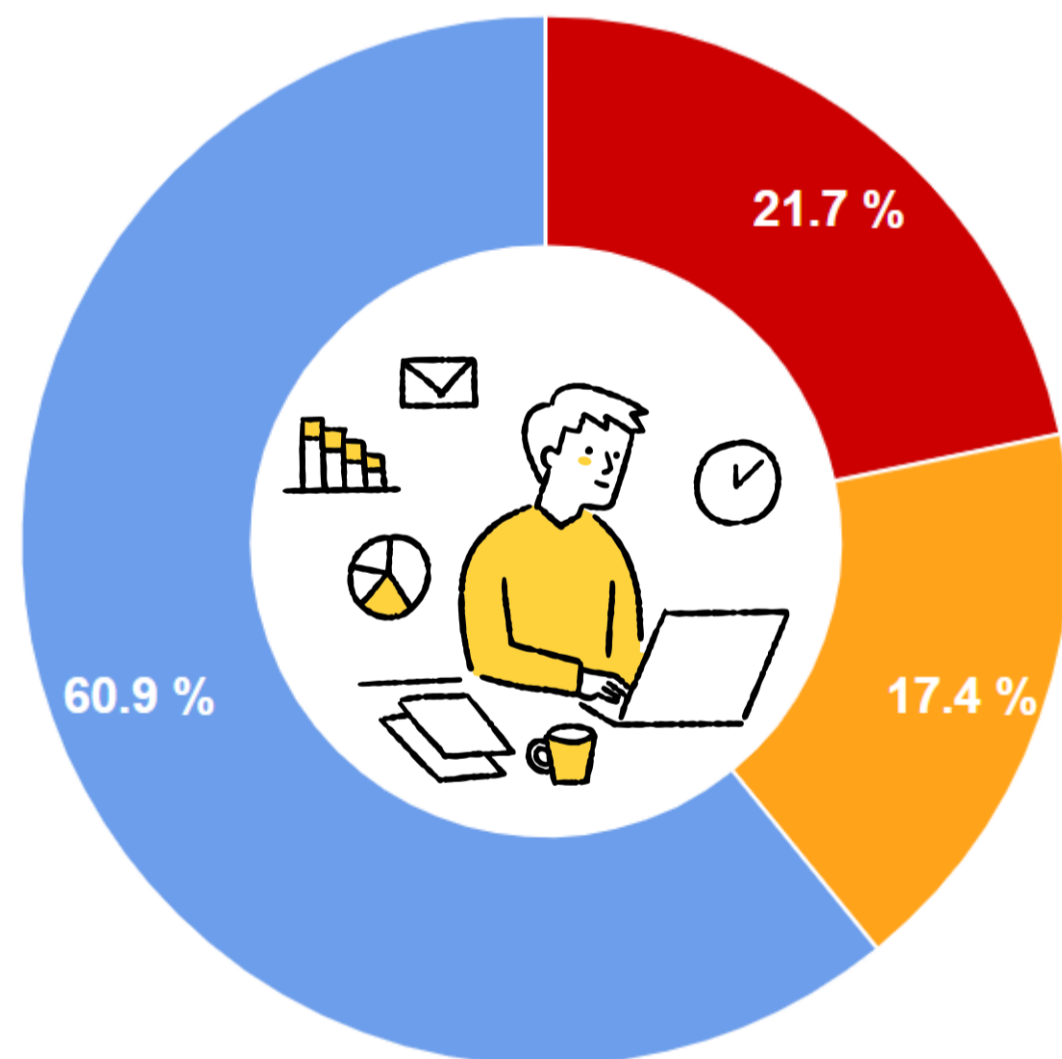
▶半分・半分以上

- サラリーマンの方が副業として投資をやるケースが多い。理由は副業にさほど時間を使わない為
- 投資だけだと不安定なので、堅実に収入を増やすための兼業をしている人は多い
- インターネットが普及して、個人でも情報を集めて収入を生み出せる時代になったから
- 投資家の中でもデイトレーダーは日々トレードを行わないといけませんが、長期でのトレードでは比較的時間に余裕が出るので他に仕事をしたりする人が多い
- 収入が不安定な為、安定した収入源をもって兼業されている方が多い
- 収入が不安定で当てにできないものだから、いつなくなってもよいように他の収入源が必要だから
- 利益が出るかどうかは他の業界よりも不安定なので、生活の安定のために副業をした方がいいから

▶半分以下

- 副業などしなくても既に稼ぎすぎて、税金対策のために海外移住している人が多いから

その他



■ 半分以上していると思う ■ 半分はしていると思う ■ 半分以下だと思う

▶半分・半分以上

- **外部講師**
→ 安定する職業ではない為。契約が単年契約が多く給料が安い
- **空調設備**
→ 季節柄の仕事なので、繁忙期以外に違うことをする人が昔から多かった
- **アパート経営**
→ アパート経営は、管理業務等はあるが空いている時間は大分ある
- **不動産賃貸業**
→ 不動産賃貸業は時間的に自由度があるから税金問題などが解決すれば、副業しやすい
→ 不動産賃貸業は日常的に時間の余裕、自由がきくので可能と思う
- **保健募集人**
→ 業務上を利益相反になる可能性もあり制限はあるものの、個人レベルでは金融商品を通して資産運用を行っているメンバーも多いと感じる
- **アニメーション監督 演出**
→ 残っている人材の割に仕事が多いため業界全体で兼業しないと作品が回らないため
- **道場経営**
→ 本業があり、稽古をしているうちに指導者からさらに先生になり指導している人は本業を続けているので兼業になる。またその方が安定して経営できる
- **飲食業**
→ 単価の低い飲食店だけでは難しいため。物価高騰だけでなく最低賃金の引き上げなどで人件費まで圧迫しているため利益率は低い。そのため他での収入が必要

▶半分以下

●卸売業

→この業界では副業、兼業までやって実績をあげる自信がないのかと思う

●保険業

→本業自体が自分でスケジュール管理を行えることや、収入も大きいため
→基本的に副業を禁止している会社が多く、そもそも副業できない場合が多い

●サービス業

→勤める方が仕事の機会に恵まれるから。個人だとどうしても信頼してもらえない

●翻訳

→本業が忙しくてできていない人が多いと感じる。情報を得るのに時間がかかる

●不動産仲介業

→副業禁止の規定がある有資格者の場合が多いことと、本業の収入が充分なケースが多い為

●電気工事業

→仕事のスケジュールが立て難い事と、出張仕事も有る為

●保険代理店

→勤めている会社が副業を認めるか認めないが大きく影響していると思う

●IT

→時期によっては忙しく、副業を行う暇が無いと思う

●飲食業

→今以上を求める人は少ないように思う

●情報通信業

→実態はわからないが、拘束時間が通常の業務時間と変わらないため

●部品組み付け

→仕事量が非常に多いので、別のお仕事をするのは難しいと思う

●保険業

→正直なところわからないが、それなりに収入を貰っているのではないかと推測する

コロナ前後で副業・兼業に対する考えの変化

あなたの業界ではコロナ前とコロナ後では副業・兼業に関しての考えはどのように変わったと思いますか？

※何も変わってない人は変わらない理由、変える必要のない業界の強みを教えてください。

美容業

- 副業がどうかではなく、辛くなって何とかしないと厳しいと思ってる人は増えてる
- 仕事がひとつでは安定しないので、いくつかの収入源があった方が安心という風になった
- 売り上げが下がり、何かする人が増えたのかも
- 考えはいろんな収入源、があることはいいと思う
- ひとつのビジネスがダメになっても、違う仕事をしているとリスクは回避できそう
- 労働で稼ぐには限界があるが、お金でお金を稼いで貰うことに変化した
- 物価も高くなりお客様の財布の紐も固くなっているので売上にも限界がでてきている。他での収入を得る人が増えた。
- 美容業界の人が副業をするというより、異業種の人が副業で週末エステサロンなどをする人が増えた
- コロナで専業が危うくなってしまった業種では、これまでとは違った働き方をしなければならなくなったから
- まだ変化があるほどの動きは無いと思うが、今後は副業などを考える人が増えると思う
- これからは、人と接さずに収益を得る方法が必ず必要になると思う
- コロナの様な自粛ムードの影響を受けやすい接客業は別の収入源を模索している様に感じる
- コロナ前は副業の意識は少なかったが、コロナ後からは収入の減少に伴って副業の重要性が高まった
- 新しいことを始めなくても、生活していける収入源があること
- コロナで影響があった仕事もあると思うので、影響がない仕事も考えるべき
- ネットを通じてコンサルタントの仕事をしている人や会員の塾みたいな人が増えた
- 一つの収入減しかない人は、どんな時でも別収入があると安心感が得られるので、そこを意識した
- コロナ後は、より一層兼業について考えている。利益が出れば始めると思う
- 何かをやった方がいいのかなとは思いますが、何を始めたらいいいのかわからない人は多いと思う
- コロナによってより多くの経営者が副業や兼業を考えている人は増えていると思う
- 何かいい副業があればいいが、中々現状でコロナになり人の流れが分かりにくいので手が出しにくい
- 本業でしっかりと顧客と信頼性があるならばコロナのようなことがあっても売り上げや利益が残せる
- 美容業事態あまりコロナの影響を受けていない気がするのでそこまで必要に迫られて副業を考える人は少ないと思う
- 本職のほう倒れても副業で少しでもカバーできるので、コロナ後から増えたと思う
- コロナ後、世の中では副業の話題が増えた為、比較的始めやすくなってきたと思う
- お客様が減少してしまい、空き時間ができてしまった時にその時間を使って副業が出来たら効率的に稼げると思った。
- 人によっては仕事が減って時間が空けば副業をしている人はいると思う
- 経営者は自分の事業で精一杯だと思う
- 拘束時間が長いまましている人はいないが、悪い印象は持たれない
- コロナで収入が落ちた人など個人で違うので落ちた人は副業しないと考える人は増えた
- 美容室の経営だけで忙しく副業をする時間を取ることが難しだけに、美容業での収入がある程度見込めるため
- 特には変わっていないが、収入の柱が何個かあった方が良いとは聞くので、わかればやりたい
- コロナで収入に変動がある人は特に将来の不安が大きくなってしまっているので副業するのが当たり前になってきている
- コロナで本業の収入に影響があった人がほとんどなので、別で収入があったほうが良いと感じたから
- 副業をしないと、なかなか生活していくのが大変だと感じた
- やりたいなと思っている人は増えたと思うが、何をしたいのか分からない人が多そう
- コロナ禍で副業や兼業を進める会社が増えて来ているので当社も進めるようにしている

小売業

- 一つの業態で経営するのではなく、複数の業態を持つことでリスク分散されると思う
- コロナ前では、需要と供給が成り立っていたように見えたが、コロナ後では、高いものだとなかなか手に出しにくい状況のため売り方も考えていけない
- コロナの影響は少なからずあったので、収入源の確保のため副業や兼業は必要だと思う
- コロナによって売上が良くも悪くもかなり変化したので、副業によって収入源を増やすことは必要と考えられる

建設業

- スマホでできる時代と言われるが、世間のイメージが良くない
- コロナに影響はないように思える
あまり変わってはいないと思う。高齢者がターゲットなので、これからもニーズは増えていくと思う
- コロナ前とコロナ後では特に考えは変わらず、生活するために兼業している
- 今のところコロナ禍になっても、コロナ前と比べて仕事量があまり変わってないからと思う
- コロナ前に比べコロナ後は現場ストップや自身の感染等出勤日数が減っている為
副業を考えている人はいる
- コロナ前もコロナ後も自分の周りは変わってないように思えるが、建設業の方は空き時間とかは
休む、みたいな人が多い
- 職人さんが少ないので、仕事が減ることはあまりない。頑張った分だけ稼げる
- コロナに関係なく副業をやっている人は自分の業界にはあまりいないと思う
- コロナで売上が落ちたのなら副業をしていかないと、生活があるのでせざる負えないのかなと思う
- コロナになってから、ネットで副業をする人は増えたと思う。ネットで買い物する人も増えている為
- 仕事量が減ったけど元請けさんと周りの繋がりでもうにか仕事を確保している
- コロナで収入が減ってるからしたいとは考えているが、朝が早いからまだ出来てない
- なかなか良い副業先がない。コロナが流行り始めてからはなおさら

コロナ前後で副業・兼業に対する考えの変化

あなたの業界ではコロナ前とコロナ後では副業・兼業に関しての考えはどのように変わったと思いますか？

※何も変わってない人は変わらない理由、変える必要のない業界の強みを教えてください。

運送業

- 運送業界に関しては常に人手不足なところが多々目立っており、コロナ前より後に関しては
個人事業主として兼業出来る面においてプラスになってると思う
- 仕事が減ったとかがあれば副業をする時間も持てると思うが、この仕事は本当に忙しいので
他に仕事をしようと思う人はなかなかいないと思う
- コロナ禍前後で、失業者の増減差が激しいと働いていて実感した
- コロナ後で会社員の人も副業で始める人はかなり増えた
- 本業だけだと、何かあった時に生活出来なくなるので収入源は複数あった方が安心だと思った
- 仕分作業がなくなった分、拘束時間が短くなったので時間にゆとりが出来るようになって
変化したと思う
- 今のところ変わりはなくコロナに関する事業ではないので変わらないと思う
- 運送業は時間が取られてしまう部分が多いので、副業に対する意識は変わらないと思う
- コロナで仕事が減って、人の変化を身近に感じて始めようとする人が増えた

WEBサービス業

- もともと柔軟な発想、考え方のある業界だったのかなという気がしている
- コロナで仕事が減った人や、逆にコロナによってリモートワークが広まり、時間に余裕がある人が
ちょっと副業してみようという意識にはなっていると思う
- 副業に関してはコロナは関係ないと思う。コロナというより増税で副業を始める人は多いのでは
- テレワークで実質拘束時間が曖昧となり、時間の使い方の自由度が広がった為、副業・兼業は
しやすくなった。
- 私の分野では、全てがよりデジタル化されている為、並行作業はあまり変わっていないと思う
- かなり広範囲で手軽にできる仕事が増えたと思う

医療・福祉業

- 休日を多めに取り有給も消化してしまう。休みを効率的に取得する
- 売り上げが減ってしまったところは仕方なく副業をしているのだろうか
自分の時間が増えたことから、多少は副業に手を出す人も増えたと思われる
- 健康増進のために貢献する業務内容。コロナ前に比べてコロナ禍の方がさらに顧客の免疫を
上げよう、そのためにはどうしたらいいか、ということに労力を注ぎ、その取り組み自体が
副業を考える必要がない経営状態に結びついたと思う
- 何かをしたいと考えている人は多いが、今のところコロナ前と変わらずに仕事が出来ているので
とりあえず現状維持で、色々模索している感じ
- コロナ前とコロナ後で特に考え方そのものは変わらないと思う。コロナによるリモート業務等とは
無縁な為
- 副業兼業に関してはコロナは関係ないと思う。 コロナで副業しないといけない程売り上げが
下がった場合には、副業より廃業して仕事を変えていると思う

個人投資家

- 仮想通貨や株など投資を始めた新規の方が増えたと思う。これは今の日本の状況が反映されている
- 投資はいつ何が起るかわからないのは、コロナ前後でも関係ない為
- 個人投資事業なので、昔から特に考え方は変わってないと思う
- 変わらない。投資家としてはコロナというよりやはり景気に波がある為、景気が悪い際には
他に副業を行ったりすることが多いと思う
- 基本的にネットだけで完結できるので、コロナのことは基本的には関係がない
- 投資に関して一般にイメージがよくなってきているので、以前よりも相談してくれる方が
多くなった。FPの資格や知識があると、信用されやすくなった
- コロナで仕事を失う人が多いのを知り、余計に投資の重要さを感じた
- コロナによって飲食業や旅館業など打撃を受けて収入が減った人が多く、投資に関心を持ち
副業にする人が増えた

その他

- 卸売業
→ なにも変わってないです 理由としてはやはりそこまでやる自信がないため
- 保険業
→ コロナ前については副業は成績があがっていない人間の食べていく手段であったが、今は
そうではない
→ あまり変わらず副業禁止の会社が多いが今後許可が降りる可能性はある
→ 正直なところわからないが、それなりに収入を貰っているのではないかと推測
- サービス業
→ オフィス移転の需要が高まり短期間でコスト内に実施するべく、専門家に依頼する会社が
増えてきた

● 翻訳

→収入の柱を増やしておく必要があることを実感して副業に興味を持った人が多いと思う

● 不動産仲介業

→仲介業として実績が上がらない場合はコンサルタントや別のアドバイザー等選択する方が増えた

● 外部講師

→何があるのかわからないので、本業の他に万が一に備えて副業をやる必要があると思う

● 電気工事業

→設計業務に携わると、どうしても現地試運転(県外も多々有難)作業を行う事なり
現地試運転の日程は客先の都合により決められる為、予定が立て難い事も有り
コロナ以前から、以降も仕事の内容は変わっていない為

● 空調設備

→特にコロナでは変わっていないと思う。ただ、収入源を増やすのはいい事だと思う

● 保険代理店

→コロナになり在宅勤務が増えた。会社の管理が厳しくなければ副業しても良いと思う

● アパート経営

→あまり変わらない。もともと会社出勤するわけでも無く時間的余裕もある為

● IT

→テレワークの推進により、自宅でも業務ができるようになったため、副業までは手につかない

● 不動産賃貸業

→不動産賃貸業は接客業、飲食業のように常に人と対応することもないので以前と変わらない

● 保健募集人

→業界自体ではさほど大きな変化はないと思う一社専属の募集人であれば制限はあるが、
乗合代理店の場合は、経営者の考え方で許可されているケースもある

● 営業代行

→コロナ関係なしに全体的に副業が出来る環境になっているのだと思う

● 飲食業

→働く時間や給料削減など、コロナになってよく聞くようになった。周りでも副業や兼業の話聞くようになってきた

→副業じゃなく、店舗を増やせばいいと考えていたがそれだけではなく業種関係なく得る手段を増やす必要があると考える

● アニメーション監督 演出

→特に大きな変化はないがコロナにかかって仕事が止まってしまうことが多々ある

● 情報通信業

→リモートがメインになった為始める人は増えたと思う。何人かは副業されている人を知っている

● 部品組み付け

→コロナ以降、サービスの量や価値観が下がったことは別として、働き方は変わっていない

● 道場経営

→コロナ禍が厳しい状態では、空手道場経営が厳しかったので兼業が良いと思う

副業・兼業に対する考え方～他業界との違い

あなたの業界での副業・兼業に対する考え方は、他の業界とどのような違いがありますか？

美容業

- 特に無し。個人事業主であればどんな業界でも意識は変わらない
- 特に変わりはないと思うが、時間の切り売りと技術職なので体力的に辛い。だからはじめての一步が進まない
- 美容業の場合、例えばメイクやセットや着付けなどはどこでもできるので、仕事の延長線上で副業を考えている場合がある
- どの業界も特に違いは無いと思う。時間を作るか作らないか
- フルタイムで勤めていると時間を作りにくい。独立したりフリーになると副業しやすい
- 技術職であるため、あまり副業が良くないという固定概念があると感じている
- 身体に何か不自由がでた場合働けなくなると収入がなくなるので収入源を増やす必要が高い
- 本業のスキルを活かした副業を選べばよりスキルアップに繋がると思う
- 美容業界は比較的収入面は低めなので、障壁は他の業界よりも低めだと思う
- 美容業はオンラインなどで出来ない分、パソコンなどに弱い人も多く、副業自体を知らない人も多いと思う
- 職人気質がある程度強めなので、副業に対するハードル意識は強い
- 美容師は副業している暇はない、という昔からの考え方はまだある
- 特に違いはなく本業の収入が少なすぎる。または理想の収入がより高い者がするのだと思う
- 違いはないが、時間的にも、スキルの的にも難しいと感じる人が多い
- 美容業界は他の業界とは基本的に考え方は変わらないと思う
- 美容業界は職人が多い印象があるので自分の仕事に没頭しがちなイメージ
- さほど違いはないと思う。人間幸せに暮らしたいなら、経済活動は大事
- 他の業界と考え方はあまり違わないと思う。情報が足りないので、みんな動けていない
- 他の業界の方よりも、そう言った考えは多いと思う
- 美容業界の拘束時間や労働時間が長いため、副業や兼業を試みたくても始めづらい
- 面倒なことが苦手な人が多い気がするので、なかなかしようとする人も少ないと思う。自分が本業を頑張れば売り上げもあげれる業種だから
- 美容業界の副業兼業は、美容関係に関わった事が多いと思う
- 大きな違いはないと思うが、サービス業としてのメリットを活かせる副業が始めやすいと思う
- 美容業はお客様に迷惑がかかったり、仕事に差し支えなければ、上下する売り上げに応じて副業をやる事はいいと思う
- なかなかできることではないから、できるならしてもいいと思う
- 副業に関する考え方は業界の違いよりも、会社であったり個人の考え方の違いによると思う
- 拘束時間が長いのと、技術を向上するために、本業の勉強中心になる
- 副業して本業が疎かにならないのであればいいと思うけど、なってしまうのであればやるべきではないと思う
- 今までは副業は駄目と言われてきた。副業する考えはあまりなかった
- 違いはないと思う。何かをやらなければこれからが大変な時代
- 自分の中では拘束時間が長いので 副業する時間を作るのが難しそう
- 特に他の業界と考え方などに違いはないと思う。会社が推奨はしていないが

小売業

- アルバイトに全て任せることができたら、副業できるが時間がかかってしまう
- コンビニ等ではみんな普通に副業兼業していると思われる
- 世間で言われている不労所得収入には程遠いが時間を掛け慣れてくれば、一定の収入が毎月入るので安定はする
- 他の業界との違いは特に見られないと思う。どの業界でも時間がつくれる人はその時間を使って
- 他のビジネスや副業を始めると思う
- とにかく労働時間が長いので、副業を始めようと思う人は少ないと思う

建設業

- 幅広い知識が必要になる。下手の横好きが他業種の知識を身につけて、兼業をする人は多い
- 家で出来る副業があれば出来るが、物理的に副業、兼業が出来ない
- 体を使って働いてるので一日の工事だけで、体力が持たないと思う
他の業界はわかりませんが本業に差し支えなければ問題ない
- 体を使う仕事が多いのでデスクワークの人より体を休めるといふ思考の人が多い
- 職人さんの年齢層が高いので、そもそも副業.兼業のやり方がわからない
- 基本的に本業以外に何か仕事をやる考えはない。逆に本業だけに集中する
- この業界と他の業界との副業に対する考えの違いは特にないと思う
- 今の時代はどのような業界でも、副業に対して合意している企業も増えてきていると思う
- 副業をしている人はデジタルに強いイメージがあり、職人技を磨いてる人からしたら余り興味がない
- 身体を使っての作業になるから、副業すると休みが無くなるのできついと思う
- 業務自体が肉体労働者なので体が空かないと副業は無理。明らかに他の仕事とは違う

運送業

- 業界ではなく物価の高騰や将来が不安がある為、副業を考える人は多いと思う
- 運送の内容によっては兼業しやすい面があると思ってるので、他の業界より受け入れやすい環境だと考えている
- 運送業界の人手不足は最近ニュースでも取り上げられるほど深刻な問題になっているので副業、兼業を考えることはほとんどないと思う
- 運送業は軽貨物の場合だと、貨物車があれば始められる利点がある
- 副業が当たり前になりつつあるので、他の業界よりも柔軟だと思う
- コロナや物価高など一つの仕事より、複数の仕事でキャッシュポイントを持つことが
- リスクヘッジになる
- 特に認識は違いないが、時間拘束があるのであまり副業にあてる時間がない
- 同じ宅配業務なら人手不足は認知されているため、割と自由に認められている
- 配送業では様々な仕事の種類があると思うので幅広く仕事ができる違いがある
- 他の業界との違いは時間が取れるか取れないかが大きな違いを感じる

WEBサービス業

- 他の業界よりも副業しやすい気がするので、柔軟なのではないかと推測
- 基本的にパソコンを使ったデスクワークなので、同じような仕事を選ぶ傾向にあると思われる
- スキルアップのために副業をする人は一定数いると思う。他の業界とそれほど考え方は変わらず生活費安定のためだと思う
- 他の業界よりテレワークという勤務体系が取り入れやすいと思われる為、時間の自由度が高く、やりやすいと思う。
- 特に違いはないが、副業程手軽に出来る仕事ではない

医療・福祉業

- エssenシャルワーカーのため、仕事を休みにくい。登録なのでまだマシな方
- 特に考え方には他業種となんら変わらないのでは
- 知らない業界などの副業を始めるよりも、類似の業界内で手伝い程度に働ければ良い、という考えのほうが多いと思う
- 本業では足りない生活費等を補う為、持っている夢を叶える為
- 今の仕事は在宅では出来ない仕事なので、在宅やりモートで出来る何かないかと思うことはある
- 副業より意味合いが濃い「兼業」前提で働くという意識はパート労働者に高いと思う
- 治療業界は在庫もなく、粗利が100%に近いので、ショボい院でも生き残りやすい環境なので、そこで副業兼業をしないといけないのなら、廃業した方がいいという考えが多いと思う

個人投資家

- 怪しい、儲からないなどネガティブな意見が多い。今から始めて専門にするにはかなり難しいと思う
- 投資自体が片手間でも出来るものがあるので、確実性のある事業をしたいと考える人がいる印象
副業兼業という括りではなくて、ライフスタイルとしてどう稼ぐかという時代かと思う
- 人それぞれであると思うが、普通のサラリーマンと違って収入は不安定であるため出来るだけ多く
- 収入となる柱を立てないといけないと思う人が多いのではないかと思う
- 上手くいけば副業や兼業などしなくても大きく稼げる可能性があること
- 金融商品による収入が本業を超える人があまりいないので、投資は副業というイメージがある
適当にやってる人が多い
- やっている事が不安定なので、常によい副業がないか探し続けているところ
- 他の業界では副業をする人は少数派だと思うけど、投資をする人はほとんどが副業でやっている

その他

- 卸売業
→副業、兼業やれる仕組みにはなっていない為、やることができない
- サービス業
→基本的に建築業界な為副業が認められていない会社が多い。副業をするという考えが生まれにくい
- 翻訳
→得に違いはない。どちらかというと一人で黙々と出来る作業的な仕事に向いている人が多い
- 保険業
→副業をし出すとノルマ未達で解職になることが多いので基本的にはしない人が多い
→社員であれば中々難しいと思われる。代理店であれば色々考えているのでは
→他業界だと本業に時間的拘束があるが保険業は拘束がないので、色々な副業が行いやすいと思う
- 不動産仲介業
→本業の収入が多い為、業績が悪い人は副業を検討することが多い。そのような場合は副業が本業になるケースも多い
- 電気工事業
→全く違った内容の副業では無く、同じ業種内で分野の違う、例えば設計業務中心の人は製作の応援、制作中心の人、試運転補助など畑違いの副業はしてないように思う
- 空調設備
→繁忙期以外はかなり時間が取れるので、冬場は違う事をしていたと聞いている
- 保険代理店
→業界全体で副業してる人は少ないと思う。他の業界の事はわからない

● アパート経営

→アパート経営は、基本的に不労所得と捉えられるので兼業・副業が基本

● 不動産賃貸業

→時間的や金銭的に余裕があるので、自分の好きな仕事を選べる

● IT

→特に違いはないと思いますが、他の開発でも流用できる為、セキュリティは特に気をつけなければならない

● 不動産賃貸業

→不動産賃貸業は一度ペースにのれば、副業はやり易いと思われていると感じる

● 保健募集人

→保険及び金融業界の場合、副業を是としない考え方は一般的。時代の流れで今後変化していくことも考えられる

● 飲食業

→飲食業界は副業や兼業に対する考え方が疎い気がする。できる環境ではなかったり周りにやってる人が少ない

→飲食店である以上、拘束時間が他の業界より長いところが多いので、どうしてもとっつきにくい。やらなければならないと感じつつも行動に移せない人が多いと思う

● アニメーション監督 演出

→推奨はされないが回らないため何社にも渡って仕事をやることが多い

● 情報通信業

→同業種のフリーランスの方は積極的に導入を検討されている傾向があるように思う

● 部品組み付け

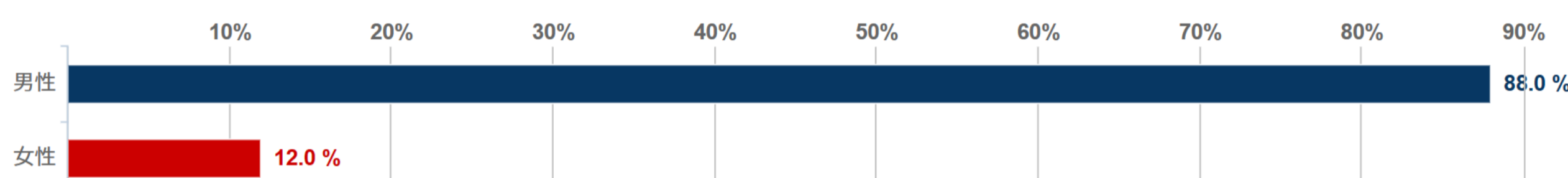
→時間が全然空いてないこと。その為副業するには難しい

● 道場経営

→メインの道場生が多い場合は、道場経営に時間が取られ、また収益も上がるので本業一本となる。生徒が少ない場合は、兼業をする方が生活が安定し仕事と趣味の空手が両方続けることが出来、人生の幅が広がる

本調査の回答者属性

▼ 性別



▼ 年齢

